

目 次

は じ め に2
開催趣意書3
「ウェルカムまちづくりー小山市民討議会2008-」 実施概要・実施経過 · · · · · 4
討議会の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
市民提言~討議結果から得られた提言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
開催前アンケート・・・・・・15
参加者アンケート23
おわりに30
資 料



「自治」という言葉を辞書で調べると「自分や自分たちに関することを自らの責任において処理すること」と書かれています。また、日本国憲法第8章に「地方自治」が認められており、同92条には「地方公共団体の組織・運営は、地方自治の本旨にもとづいて、法律でこれを定める」と記されており、その地域の住民の意志に基づいて地方行政の運営が行われる住民自治と、地方の運営は地方の住民の意思を反映した、国とは別個の統治機構に



よって行われる団体自治を認めています。当然のことですが私達市民は国や地方行政に意見を述べる権利を与えられ、地方行政にも私達市民の意見を聞く責務があると記されています。 つまり「市民参画の街づくり」が憲法でも認められています。しかし近年の自治体選挙での 投票率が低下現象にあり、住民の地方自治への責任に関しては閉塞感を否定することの出来 ない現状にあり、また近年の切迫する地方財政の下、行政も思うように住民サービスを提供 できない状況になりつつあります。

今回、私達はドイツの市民参画の手法を日本版にアレンジした「市民討議会」を参考に、初めての試みとして「小山市民討議会2008」を開催することになりました。これは参加者を公募するのではなく、無作為抽出によって参加者を募り、これまで参加するきっかけが無かった方に地域社会について討議して頂く事で、全体の意見として集約し、行政に対して提言する事と参加者の社会参画意識の向上を目的に行います。

私はこの街が大好きで、この街の住民であることに誇りをもっています。生まれた時からこの街で暮らしてきて以前に比べたら本当に住みやすい街になってきたと実感しています。今後もまだまだ成長する可能性を秘めた街だと思っています。今回の市民討議会は小山市では初めての試みです。私自身正直どのような結果になるかまったく想像できませんでしたが、討議会での皆さんの率直な意見がこれからの小山市のまちづくりには必ず必要であると確信しました。

今後も「小山市民討議会」を小山市と協働しながら継続開催し、皆さんの意見を抽出し、 行政にしっかり伝えていき「市民参画のまちづくり」の意識の向上を図っていきたいと思い ます。皆様には今後とも趣旨をご理解頂き、率直なご意見とご協力を頂ければ有難いと思っ ています。

最後に「小山市民討議会2008」を開催するにあたり大久保小山市長はじめ行政の皆様、 実行委員会の皆様、小山青年会議所の皆様、そして何よりも趣旨をご理解頂き参加された市 民の皆様に心より感謝申し上げます。

> 小山市民討議会2008実行委員会 実行委員長 奥澤 亮

小川市民討議会2008 開催趣意書

現在のわが国は、少子高齢化社会の進展、様々な格差の顕在化、地球規模での温暖化対策など、社 会経済情勢は混迷を深めており、国家財政の健全化に主眼を置く三位一体の改革とあいまって、地方 自治体は大きな転換期を迎えております。

こうした時代にあって、最も大切なことは、地方自治の担い手である地域住民の声に耳を傾け、的 確に施策に反映させていくことによって、協働のまちづくりを進めていくことであります。

(松)小山青年会議所は、明るく豊かな社会の実現の為、市民が主役となる市民協働のまちづくりを積 極的に進めているほか、様々な市民活動に参画してきております。

また小山市は、これまでも「市長への手紙」「市政モニター」「パブリックコメント」などの広聴活 動のほか、「(仮称)小山市自治基本条例検討市民会議」、「小山市総合計画策定市民会議」の設置など を通して、市民の声を市政に反映させてまいりました。

このような機会の創出は、小山市民の社会参画意識を高めることに大きく貢献してまいりましたが、 一方では、このような意識が十分に浸透しているとは言い切れません。

識改革されることが期待され、市民参加と協働を積極的に推進してゆく次なる一歩となりうる、新た な市民参加の手法の検証を行うことを目的に、11月に「小山市民討議会2008」を協働で開催い たします。

「小山市民討議会2008」はドイツの市民参加の手法を参考に実施いたしますが、その特徴は次 の5点です。

- ① 20 歳以上の市民を対象とした無作為抽出という方法により、これまでの社会参画意識の高い市 民以外の方にも参加を促すきっかけとなります。
- ②討議会への参加者には日当を支給します。これは金銭を支給することにより参加者に「責任ある 仕事」として取り組んでいただく為です。
- ③討議テーマについては専門家から情報提供を受けることができるため、専門知識を有しない方で も安心して参加できます。
- ④プログラムの進行に従い各自の意見を出し合うことで、市民の知恵や良識を行政に反映すること が出来ます。
- ⑤ディスカッションの手法や内容及び成果について、実行委員会が検証・評価を行い、報告書とし てまとめ、公開します。

テーマごとにディスカッションを行い、今回は賛否をとって結論付けすることはしませんが、市民 の皆様が抱える課題や関心を明確化し、提案については市の施策などに反映させ、小山市をよりよい まちにすることを目指します。

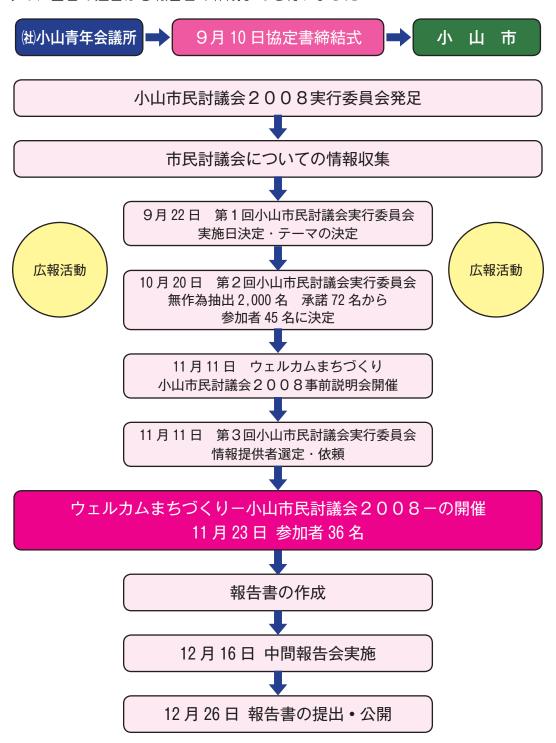
(松)小山青年会議所と小山市が協働で開催することにより、「市民参加と協働のまちづくり」の実践 がまたひとつ始まろうとしています。市民の皆さんのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願 い申し上げます。

2008年9月10日

小山市民討議会2008実行委員会

■「ウェルカムまちづくりー小山市民討議会2008ー 実施概要・実施経過

2008年の春、社団法人小山青年会議所(小山JC)より小山市長へ無作為抽出による新しい市民の会議「市民討議会」を提案し協力を依頼しました。2008年9月に第1回小山市民討議会2008実行委員会を行い本格的に始動しました。2008年11月の開催に向け準備をすすめ、当日の運営から報告書の作成までを行いました



運用形態 \(\text{\mathbb{\lambda}}\) 山青年会議所•小山市

小山市民討議会実行委員会2008 運用主体

開催期日 2008年11月23日(日)

開催場所 道の駅 思川 小山評定館

45 名参加予定のところ 36 名参加 参加者

参加者抽出 住民基本台帳より 20 歳以上の男女 2,000 名を無作為抽出し、参加依頼

書を送付

人と企業を呼び込むまち 討議テーマ

小テーマ 討議1:わがまち小山の長所

討議2:わがまち小山の短所

討議3:来てみたくなるまちってどんなまち?

討議4:住んでみたくなるまちってどんなまち?

参加者は、討議に先立ち小テーマごとに地域における実践者、行政関係 情報提供

者などから、討議を進めるうえで必要な基本的情報提供を受ける。

①参加者は討議グループ(1グループ6名ないし7名、計7グループ) 討議進行

に分かれる。

②

討議グループごとに小テーマに関するグループディスカッションをお

こない、グループとしての意見を集約する。

③グループで集約した意見を発表したのち、各組ごとに賛同できる意見

に対して投票を実施する。

④討議2が終わった後でグループメンバーを入れ替えて、次の討議をお

こなう。

実施報告 市民討議会での市民意見については市民提言として実施報告書にとりま

とめ、小山市に提出するとともに、市民にも公表する。



○討議の様子

奥澤実行委員長挨拶



奥澤実行委員長から市民討議会開催にあたって の挨拶を行いました

板橋理事長挨拶



社団法人小山青年会議所第39代板橋理事長が 挨拶を行いました

グループ討議の様子



市民討議会は道の駅思川小山評定館で開催され ました。グループ内で活発な討議が行われまし た

情報提供の様子



わがまち小山の長所と短所というテーマについ て小山市企画財政部企画調整課長三田久雄氏と いいとこ教え隊おやままちなかボランティアガ イド代表大島満雄氏が情報提供を行いました

グループ討議の様子 その2



グループ毎に掲示板に模造紙を張り出し各グ ループの代表者が発表を行いました

グループ討議の様子 その3



各グループの発表後、参加者による投票を行い ました。各グループで発表された意見の中で共 感するものにシールを貼って投票を行いました



討議ボードへシール投票



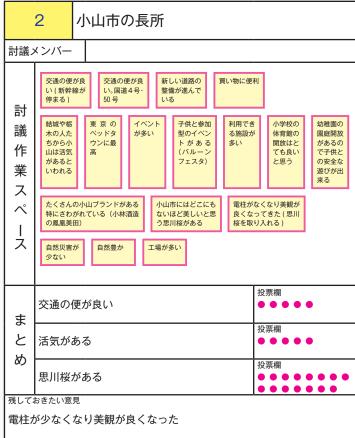


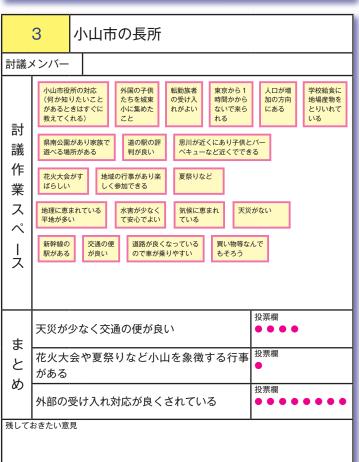
グループ発表

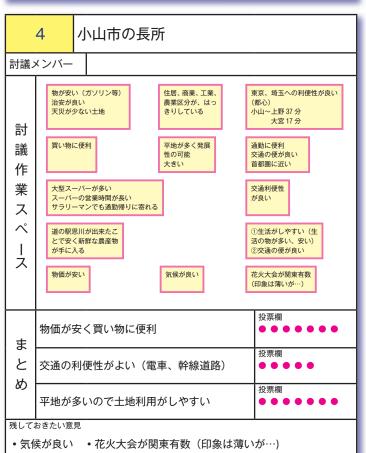


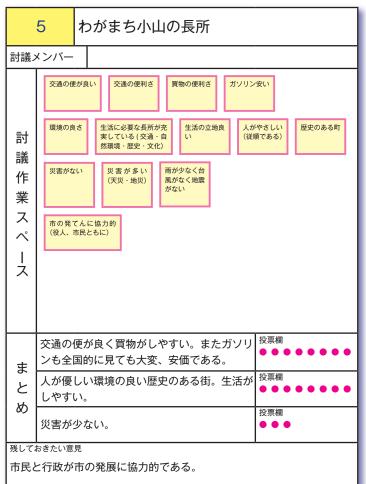
市民提言~討議結果から得られた提言

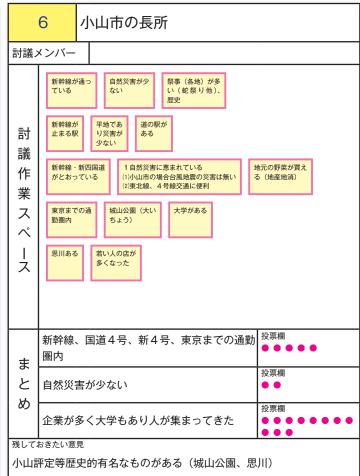


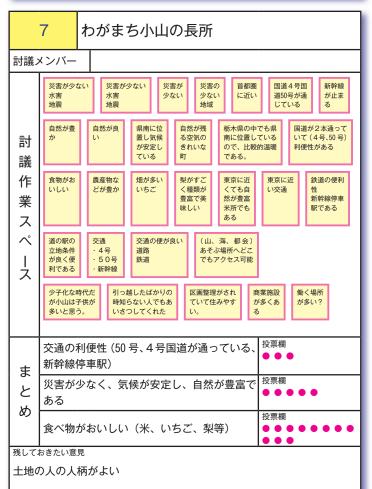


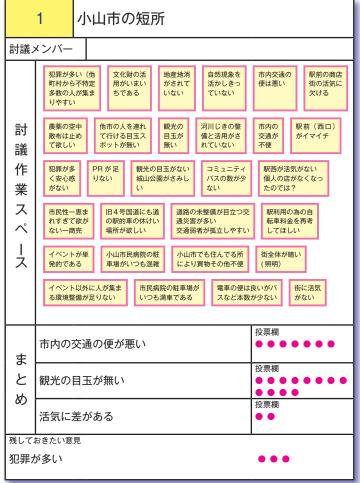


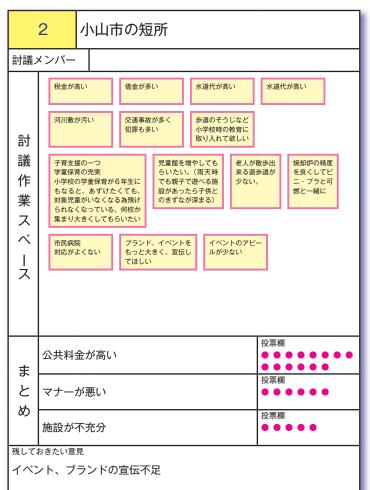


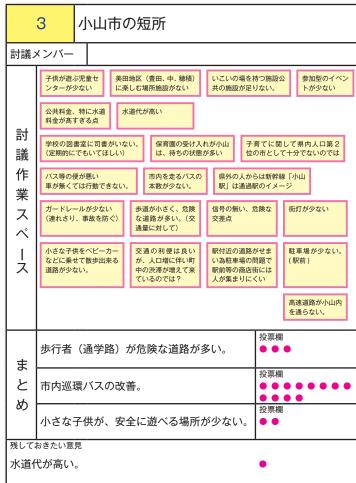


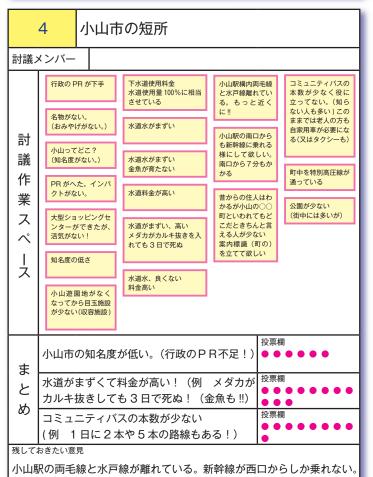


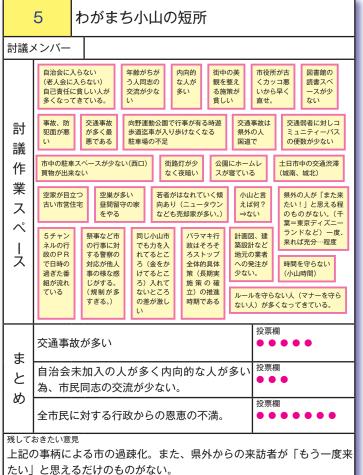


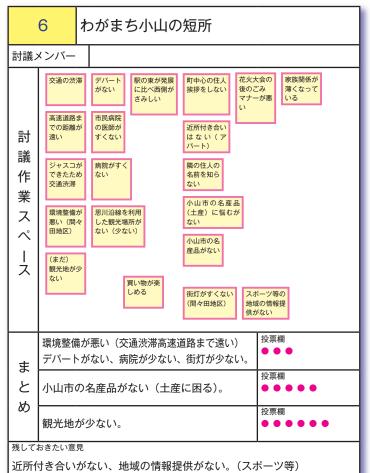




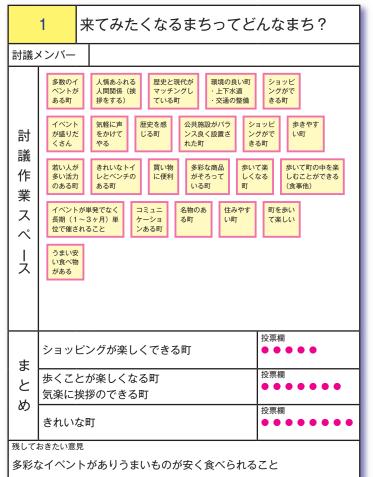


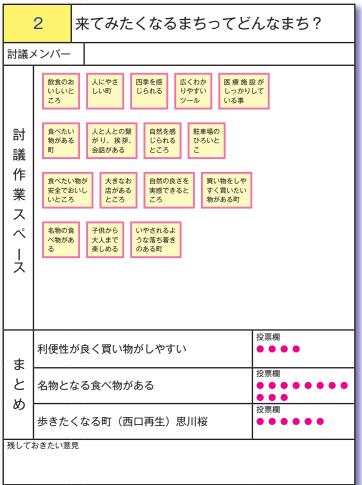


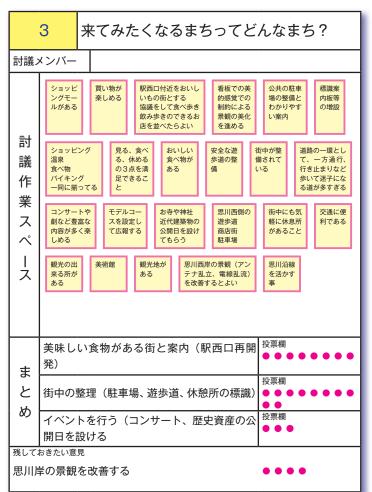


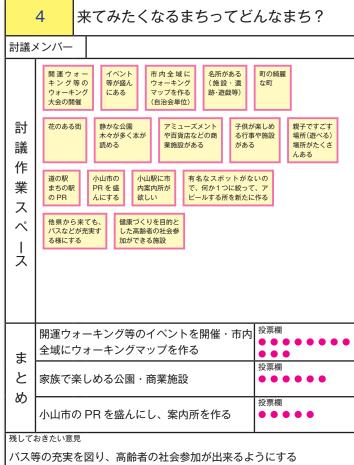


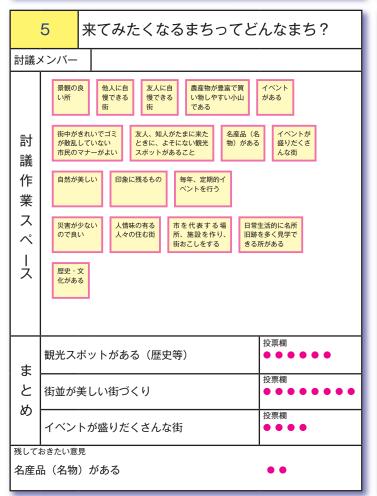


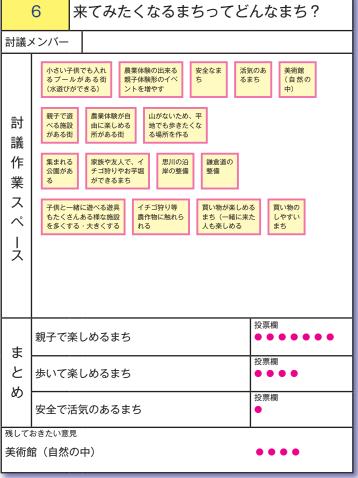


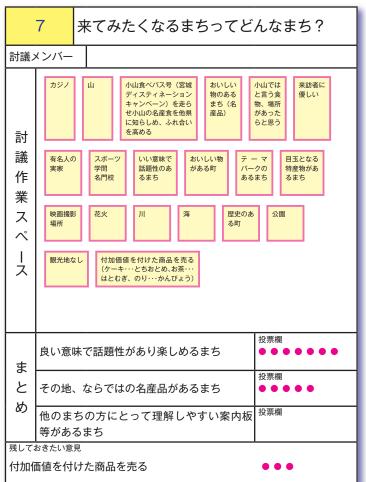




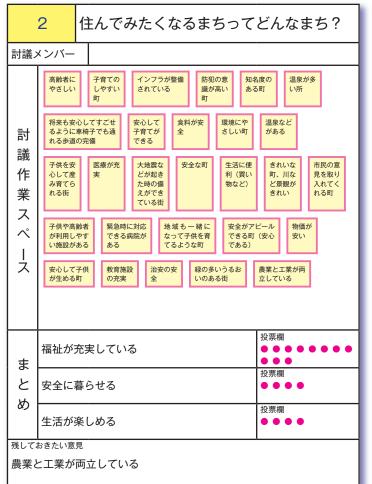


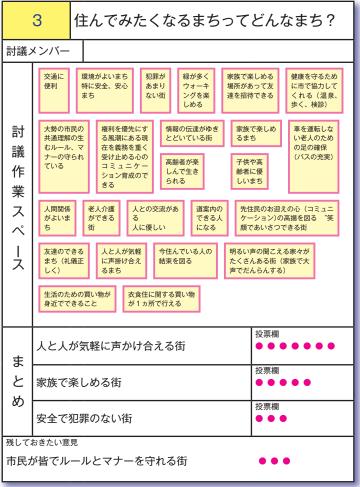


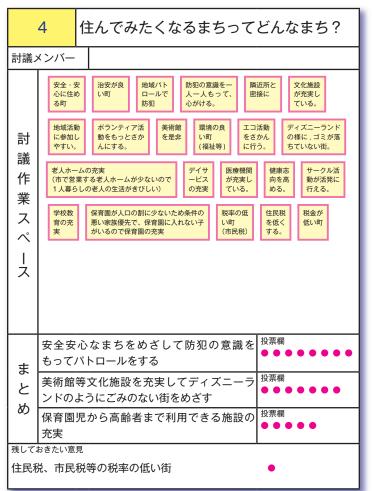


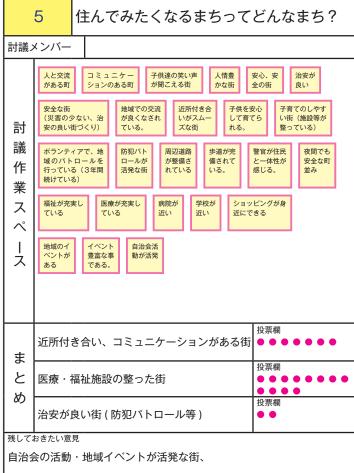


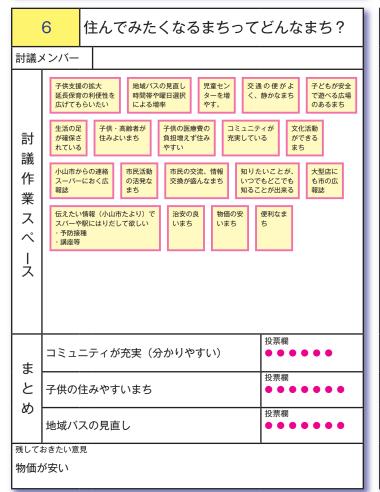


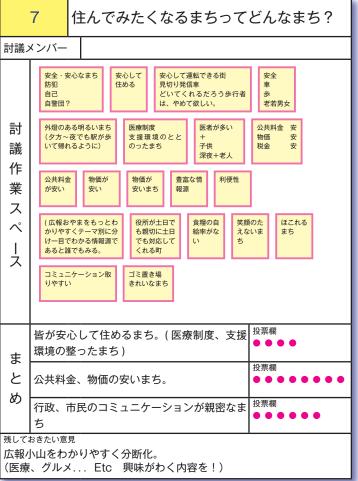












開催前アンケート

(**質問1-1**) 市民討議会に参加されなかった理由は?(複数回答可)

1	1 討議会に参加すること自体に興味をひかれない。	
2	2 今回の討議テーマに興味をひかれない。	
3	3 討議会に参加したいが条件が整わない。	
4	その他	146名

- 交诵手段がない
- 大変興味のあることだがそういうことが非常に苦手
- 運転免許がないので自転車では遠すぎます
- 身体障害者で介護を受けているため
- 日曜日は仕事が休めない
- 入院中
- 知的障害者には討議参加は無理です
- テーマはとても良いと思います
- 連休で旅行に
- 高齢の為出席できない
- 介護者がいるため
- 体調が悪い
- 広聴システム等をすでに利用している。

- 社会参画意識を育てたいなら別の方に機会を与えてく ださい。
- 現在身体障害者で歩行も自由にならないため
- それぞれの意見をまとめたり人前で発表したり出来な
- 11 月には小山市から転出するため
- 参加できるほどの自分の考え意見を特別持っていない
- 市のことをあまり知らずに参加するのはよくないと 思った
- 仕事がある
- 小さい子供がいるため長時間の参加が不可能。
- 市議会議員が当然取り組む問題である。

(質問1-2) 質問1-1で「討議会に参加したいが条件が整わない」とお答えになった方 におたずねします。都合に沿わなかった条件は? (複数回答可)

1	日程	116名
2	開催場所	17名
3	その他	52名

- ・2000人の中の25人では参加できそうにありません。
- 平日は仕事を休めないため
- 事前説明会は平日仕事の関係でむり
- 仕事が休めない。
- 車の運転が出来ない遠いから歩いてはいけない
- ・出産後間もないのでいけそうにない
- ・病気のため
- 子供がいると預けられたらいい
- ・ 当方シフト制にて勤務しており 2 ヶ月以上前に連絡を 会等に出られないと思います。
- ・説明会、討議会の日程をはっきり決定したうえでない と参加の可否の検討もできかねます。
- 義母入院中の為

- ・長期出張のため
- 市議会議員の活動強化を願う
- ・説明会開催日(11月中旬)に旅行の予定になっており 重複すると迷惑がかかる
- 老親がいて手がかかる。それで参加すると私自身が忙 しくなる
- ・郊外なので地域の用事等が多すぎる。市からおろされ る用も多い。
- バイクなので
- 頂かないとシフト組みに影響します。また、事前説明 → 子供2人(1歳と2歳)を子育て中のため時間がとれ ない

(質問1-3) 質問1-2で「日程」とお答えになった方にお尋ねします。具体的には何で すか? (複数回答可)

1	1 日時 2 曜日(土・日)	
2		
3	開催期間(連続2日間)	14名
4	その他	30名

- 平日は仕事のため土日は母の介護のため
- 会社の出張が入っていたため
- 11月23日はすでに予定が入っています。
- 所要ですでに予定がある。
- 定期の仕事ではないが、その日が勤務の日であるため。
- 時間が長い

- 予定がわからないので決められない。
- 11/23 は毎年行事がある
- ・開催およそ2ヶ月前では周知が遅いように思える。
- 説明会の予定日 11 月中旬頃、自動車免許証の更新講習

(質問2-1) この市民討議会は、参加していただく市民のみなさんを無作為(ランダム) で選んでいます。この選び方についてどのように思われますか?

1	良いと思う。	260名
2	良いと思わない。	88名
3	どちらでもない。	75名

(質問2-2) 質問2-1で「良いと思う」と答えになった方におたずねします。その理由 は? (複数回答可)

1	 へだたりのない市民の意見をひろく知ることができる。 市民がまちづくりに参加するきっかけになる。 	
2		
3	その他	13名

- 特定の人でないから良い
- ・何人に発送したのか分からないが25人を集めるため ・ランダムでという発想をお出しになった今回、初の市 に経費がもったいない
- 前もって広報とかで知らせられていたのでしょうか? 突然のことでとても困る。
- 討論の方法もなれない人にとってはむしろ負担である。
- 小山は外国人の方も多いのでその人たちも含めての選 び方なら良いと思う。
- 人とのつながりを知る場として良いと思う
- 老若の意見が聞ける
- 一日では何もできないと思う。
- 楽しみが増える

- 年とか男女に関係ない幅広い事が良いと思います。
- 民等議会の関係の方々にちょっと明るい光を感じまし
- ・関心のない市民が市政に興味を持つようになると思う。
- ・小山市を魅力的な町にする為、また活性化する為に必 要な事と思う。
- すべてとは言わないが、市が考えているより複数意見 の方が細部まで見える分、改善し易いのでは。
- 興味ある人にも参加してもらう。

(質問2-3) 質問2-1で「良いと思わない」と答えになった方におたずねします。その 理由は? (複数回答可)

1	無作為で市民を集め、討議することに意味があるとは思わない。	
2	無作為といっても実際に参加できる人は限られている。	
3	その他	

- 全体で25名の少人数ならそれぞれの地域でリーダー的 |・1%ですよ。・・・ただやったという事例だけを求めて な人物を推薦し決めた方が適確だと思います。
- に議題が進む様な気がする?
- 交通事情があると共に話がわからないと思う
- 建設的な意見を求めるならば人選に線引きをするべき か?
- 自治会を活用すべき
- 選出された人の年齢に偏りがでないか?
- 討議する事に好き、嫌いがあると思う。
- こういう催しに興味のある方で討議した方が盛り上が ると思う。
- 勝手に決められても大迷惑で困る

- いるのか?
- 小山市民討議会といっても合併による農村地帯も小山 | ・以前、検察審議会の方で2度無作為選出されており今 市であり農村地区の方は討議に参加する意志はあるの 回で3度目。無作為とはいえ確率が高すぎる為、選出 だろうか? 小山市民討議会といっても中心部を中心 されやすい人が居るのではないかと、平等では無いの ではと疑念を持っている。
 - 年代別に考え方、意見も違うと思うので年代ごとに何 人と決めて、そこから無作為に選んでもよいのではな いかと思った。
 - 参加したい人を募集した方が、意欲のある人が集まる から意義のある討議会になると思う。
 - 毎回無作為で参加者を決めることになると、討議内容 も限られ、成果も保てないと思う。
 - 土日だからといって全住民が休みとは限らない。
 - ・学も無く、高齢の為

(質問3-1) 今回の市民討議会のテーマ設定についてどのようにお感じになりましたか。

1	良いと思う。	260名
2	良いと思わない。	32名
3	わからない。	122名



(質問3-2)「良いと思わない」とお答えになった方におたずねします。市民討議会のテー マとしてとりあげるべきだとお感じのものがあればお書き下さい。

- 具体的なテーマを話し合ったほうが良いと思います。
- ●日常の中でテーマはたくさんありますがすぐには思い | ・各世代別、職域等の市政に希望すること。 つかない。
- 小山市は市民の声を受け止める場として行政窓口、市 会議員、民生委員、児童委員、子育て支援センター・・・ 等の様々な機関を持っています。ここで受け止めた市 民の生の声を基にしてテーマを決め討議されたら内容 も深まり役に立つような気がするのですがもちろん守 秘義務はきちんと守られた上での話しですが・・・。
- 私は小山に転居してきてまだ2年、小山市の自宅近所 のことしか分からないです。長所はなんとなくわかっ ても短所ってすぐ分かりません。
- どんなことをやっても良くならないのなら無駄に税金 を使うな。
- あまりにもテーマが広すぎる。具体的にあるいは今回 はこれだけと少し絞ってテーマを決めてもらいたい。
- 出来れば身近なテーマを討議してほしい。市民が安心 して生活できるようスポーツ、健康、医療等市民の代 表である議員の活性化
- 小山市民の今後のあり方
- テーマとしてはこのようなテーマになるのでしょうが 私の住んでいる所は区画整理もされ遊歩道もきれいに できている。しかしゴミ出し場所はルールが守られず いつもゴミが残され遊歩道にはゴミが捨てられ(時々 拾っている) 犬の糞もしかり、道路にもゴミが落ちて いる。とにかく住んでいる人のマナーが悪すぎる。小 山市は本当にきたないと常々思っている。近所に強盗 も入り治安もあまり良くない。私は買い物は自転車や 散歩しているのでよくわかるのだと思うが車で通った 吸いがらが、道路中に落ちている。
- 日本で知名度の低い栃木というのをテレビで知りまし た。日光もあるし災害もあまりない良い町と思うのに なぜ?こういうテーマを取り上げて頂きたい
- 市民自由参加型の行政運営をお考えでしょうが市民窓 □を始め行政側の役人態度では市の発展はない
- 市民の生活に密着したテーマがよいのでは。今回のテー マでは興味がわかない
- 具体性のあるテーマにすべき
- 議員がどのような努力をしているのか
- 市の古い体質を変えていくには?
- 環境問題

- 市民生活に直結した問題点について。
- 個人意見となりますが、もっと目先の問題に目を向け、 徹底討議を行うべき、高齢化社会、年金問題、農業(食 の安全)問題等、これらの問題は、安心なものではな いため、市民総ぐるみとなった運動が必要と感じます。 様々な意見を出し合い、市独自の取組みを考えるなど。
- (人と企業を呼び込む町) これ市執行部のキャッチフ レーズの丸写しです。
- 小山市全体のことを考える程、小山市の事は知らない、 もっと身近な問題が良いと思う。体と心に余裕のある 生活をしていれば良いが、老夫婦の2人暮らしでは、 とても参加する気になれません。人情なくして唯々金、 金の世の中。
- テーマが漠然としている
- テーマが広すぎて一日ではムリ。
- •「人と企業~」ではなく「行政のあり方」がそこに住む 人の豊かな暮らしを左右すると思う。公共施設や文化 施策、福祉や医療の負担を市民にさせるのではなく充 実したものを「公」で!
- 私は生まれも育ちも高校も小山市です。子供が2人い ます。3才、5才の男の子です。小山市は天気に左右 されない子供の遊び場がないです。私は子供たちと-緒に2ヶ月に1回、佐野の子供の国へ行きます。天気 に左右されず遊びます。県南の公園も良い所ですが、 やはり天気に左右されない場所があれば他の市からも 人々が来るかもしれません。あと結城市(鬼怒川の横) にある温水プールとお風呂が入れる場所。どちらも一 回行って見て下さい。
- だけではわからないのではないか。それからタバコの | 正規雇用の促進 (派遣社員の制限等)。農薬の使用の制 限(範囲や量等)。義務教育の授業時間の増加(補習授 業等)。
 - もっと的を絞ってインフラ整備、企業誘致、学校の学 区の見直し、医療機関や警察、消防の配置の良し悪し など年毎に一点にして、各グループが同じテーマにつ いて意見し合う方がいいと思う。

(質問4-1) 無作為抽出による市民討議会の試み。今後も続けるべきだと思われますか。

1	続けるべきだと思う。	235名
2	やり方を見直して続けるべき。	89名
3	続けるべきだと思わない	67名

(質問4-2) 質問4-1で「やり方を見直して続けるべき」とお答えになった方におたず ねします。どの点について見直しが必要だとお感じになりますか(複数回答 可)。具体的なご提案をお持ちであればお書き添えください。

日程

- 一日ですむように
- 土曜日が良い。連休は避ける。
- 時間が長すぎる
- ・週2回の日曜日という形で
- 時間設定が長すぎる。短時間にし日数を増やしたほう が良いのでは?
- 前もって事前説明会日程等はっきり決めてほしい。そ うでないとシフトが組めないので参加できない。
- もう少し日程を早めに知りたい。お勤めの人も多いと
- ・大切な話し合いですがやっても2時間でしょう! 長 |・なるべく早くの周知、早いほど良い半年等 すぎます。

- 十日と平日2回
- 平日・土日に分けてみては
- 平日・週末、朝・夜など、複数日設定してみては
- 土日と平日と希望をとってどちらか参加できるように したらいいと思う。
- 時間が長すぎるので1~2時間位にした方がいいと思 う。
- 県民の日
- 毎年同じ日又は同じ(○月の第1日曜日)時期にして 定着化させる。
- 2日間位から参加できる日を選ぶ。
- 3ヶ月に一度位

2 テーマ

- 前回のテーマの意見を発表して同じテーマを掘り下げ | ・テーマ別に1年位かけてまとめるべきでは? てもいい
- もっと生活に身近なテーマ
- 小山市における物流政策の改善について
- 具体的なテーマで
- ゴミの出し方についての工夫?花火大会をもっと地元 ・小山市を考える。 色を出した祭りにしたら?
- 一回につき一つのテーマで
- きれいなまちづくりもテーマに加えて下さい。
- 休日作業の人の意見が入らないから
- 住民型市政施行へ
- テーマを募集するか、生活に密着した内容

- 自治体が問題や困難を認識している事柄
- よりよい小山を目指して。
- 生活環境や年齢などによって興味関心が違うと思う。
- 討論するならテーマは具体的な方がいい。
- その年にあったテーマを先に公表して、参加したい人 を公墓する。
- 今市民が当面している問題(小さなことでも)
- 特色ある小山の町作りのために
- 1つに絞った方が良いのでは、2つだと内容が雑に感 じる。
- 参加者がテーマを決めるべき

3 謝礼,

- 道の駅には行かないので不必要
- 道の駅思川はほとんど利用しないため商品券では図書 券のほうがよい
- 税金で謝礼を出してまで意見を聞かせていただくので すか?社会参画意識を育てたいのなら謝礼はむしろ逆 ● 商品券ではなく現金 効果になりませんかね。市の行政を少しでも助ける意 味で謝礼は控えるべきと思います。この程度で謝礼を 支払うのならもっともっと支払ってあげたい人が他に いるのではないかな。
- 道の駅思川の商品券では使い道がありません。住んで いる場所もぜんぜん違うし今のところその場所へ行っ たこともないです。現金か全国で使えるギフトカード のほうが良いです。
- ・謝礼で呼んではいい討議会とはならないと思う
- いらないと思う。ハッキリ言ってムダ!! →税金で しょ? もっとためになる事に使って下さい。

- 無作為に抽出 2,000 名×80 円 =160,000 円この予算を 開催日を多くして謝礼として使うべきだと思う。
- 車代として、商品券、1,000円~2,000円以内ではどう か?
- 金券・商品券を出さないで違うもので謝礼する。
- 討議に謝礼は必要ない。
- 特になくても良い。
- 本来、話がしたい人は礼はいらないと思う。
- 使用場所が限られ、全く魅力が感じない。
- 冬に市内で使えるお買物券など
- 図書券やギフトカードその他
- 不要
- 参加協力料として 5,000 円から 10,000 円 (現金)

4 開催場所

- 市役所が良いのでは
- 場所が遠すぎる
- 車の運転が出来ない方でも参加できる場
- 市の行政機関たる市役所の会議室
- 市民討議会というので場所的にどうか
- 小山市近辺
- 市長を混ぜて市長室
- 遠すぎる、駅に近い場所が良いと思う。
- 地区ごと
- 交通が便利で駅付近など近距離
- 送迎の車があれば
- 市中心部が良いと思う

- 中心の市役所の方が良いと思う
- 交通の便の良い所
- 市役所内
- 県南体育館
- 道の駅では車のない人がほぼいけないので県南体育館 や文化センターのほうがいいのではないか。

5 運営方法

- 参加員数が25人では少ない
- 委員長はどんな方ですか? 責任者が毎年変わらない ようにいたほうがいい
- 社団法人小山青年会議所と小山市で、職業別や役職別、 年令別とかきちんとしている人が意見をのべた方がい
- 一般から募集し人数を増やしたらよい
- 自治会を活用すべき
- 白鷗大学の学生に協力、参加してもらっても良いと思 う。
- 従来通り
- 年齢別 (20 代、30 代等) に同じテーマのフリートーク をして、最後に発表して全員でトークする。

- テレビで見られるようなフリー討議にすべきと思いま す。
- 多方面の方々を代表にして討議できるよう有権者を もっとかたよりなく!
- 上記のテーマを掲示広報して意見を集める
- 年代別に討議をしてみては?
- 市役所、役所職員の参加
- 委員が毎年変わる様では話にならない。

6 その他

- 時として年齢層を決めて実行する
- 無作為抽出ではないほうがよい。
- 人によって得意不得意がある。アンケートで意見を求 めることも必要。
- 開催回数を年2回設定する
- 家の場合は認知症の年寄がいます。もう少しその身に なって考えて頂きたい。
- 健康状態のチェック等はできませんか
- 参加承諾者 25 名以上の抽選は考慮すべきである
- 討議結果がどう生かされるか、によると思います
- 無作為抽出ではなくて、参加希望者を募集して。

- 参加希望者を募るのが先でいなければ無作為に抽出す る方が良いのでは?
- 年齢も考えるべきだと思います。
- 女性の高齢者には足腰の悪い方が多いので注意。それ に会場まで行く交通手段がない。
- テーマを公募にしても良いのではないでしょうか。
- ・討議内容の報告や公開だけでは意識が弱いのではない だろうか。
- いまひとつ主旨が分かりにくい。なぜ今、市民討議会 をするのか。

その他、この市民討議会の試みについて自由にご意見をお寄せ下さい。

- 市内勤務者でもないし、地域活動にも参加してこなかっ たので良く分からない。男性よりも女性のほうが良い のでは。
- とても良いことだと思うのでどんどん新しいことをた めしてほしい。
- 初の試みだそうだが企画はとてもいいと思う。聴衆を 前にあらかじめ選ばれた市会議員、行政職員、各団体 関係者(民生委員、児童委員様々な団体)そして一般 市民が同じテーブルで自由に本音で討議が試されたら 市議会も活発になるだろうし市政も身近になるような 気がする。勉強不足の議員さんや職員は簡単に見破ら れちゃうかもしれないからちょっと心配かな。
- テーマにもよるが小山市に長く住んでいる人でないと 分からないようなテーマの討議会に転居して間もない ひとが参加することってどうなのでしょうか?生まれ も育ちも小山って人が参加したほうがいいと思います。
- ・現在身体障害2級で事故介護を受けており社協の支援 課から毎月自宅訪問をされており市のケアセンター「エ ブリデイ」に毎週通っております。したがって議会に 参画する状態ではありませんので辞退させていただき ます。
- このようなアンケートを無作為抽出に送ることについ てどの程度の効果を得られるかは???である。
- 実施後問題点が浮かび上がれば市政に反映させてほし い。乳幼児がいる母親が参加できるよう対策を取れれ ば先に提示してほしい。
- 今回が初めてと言うことですから無作為抽出日程その 他については行って変更すべき点があれば変更したほ うが良いと思うのでこのまま続けるべきかは断言しな いほうが良いと思う。
- 税金を安くするための議会でもやれ!!
- このような会を設けることはとても良いことだと思い ます。試行錯誤しながらもよりよい方向に継続するこ とが出来ることを希望します。今回は参加することが 出来ずとても残念です。
- 何で自分が選ばれたのか分からないので知りたいです。 無作為抽出と言っても何かあるんじゃないですか
- こういった試みは続けるべきだと思う。
- ぜひ市民生活のために役立ててほしい。
- 今回の経費を広報等で知りたいです
- ・無作為抽出によって良い点もあると思いますが70~90 代の方よりこれから将来が展望できる意欲的な方を何 等か方法で選出すべきと思います。
- 市も市民も+(プラス)になれば会の意味があると思 います。実りがありますように。
- 2000 名→ 25 名というのも少し問題がある
- まず市民の参加を促進する施策を実践することが大切 だと思います。
- 小山市が住みやすくなるようなためになる討議会に なってくれるように期待しています。私事ですが当日 は親類の行事に出席の予定があります。

- 無作為抽出後各自治会公民館を中心に地域を意識しな ければいかないかなと思います。小山市の中でも都市 部と農村部では考え方も違うし住民同士の距離も違い 幅広い意見が出てこないのではないかと思います。
- 郵便番号の下の番号は個人特定のものかな?
- ・ 今日 10 月 4 日 (土) 栃木市蔵の街映画祭に行ってきま した。若者たちが中心になり運営にあたっており気持 ちよく映画鑑賞が出来ました
- 検討の方策は良いと思うが参加者は仕事を持っている ので事前説明会を含む休日に開催したほうが良いと思
- 私は東京から小山市に嫁に来て34年になりますがいま だにおこがましく皆様の前で意見を言うことは出来ま せんがこのようなアンケートには以前にも書かせても らったことがあります。仕事が忙しく日曜日なので行っ てみたいなとは思いましたが説明等は曜日が分かりま せんし遠慮しておきます。
- 母は入院中のため同居している私が代わりに記入して いますが小山の発展のためには良いと思う。頑張って ほしいです。
- もっと簡単に参加できるようにしてほしい
- 日程及び開催場所等をよく検討してほしい
- 各地域によって問題の内容が違ってくると思います。 すべてひっくるめて「小山市とは?」と言うことは方 向が狂ってくると思います。アバウトな話でなく一点 一点の問題を考えていったほうが良いと思う。
- 今後はテーマを細分化していってください。たとえば 緑の多いまちづくりについてなど
- ・開催日時の設定(決定)については小山市議会が開催 された日の翌週の日曜(例えば10月15日)(に議会 が開催→10月19日と10月26日に小山市討議会を開 催する)に設定するようにもって行ってもらいたい。 また、この会合には小山市長、副市長も参加していた だくことが望ましい。
- ボランティアからの発信であるのに代金を支払うのは いかがなものでしょう。それも限られた場所のみの金 券では使用不可である。また、お金をもらうから責任 が持てるという発想も如何でしょう。あくまでも小山 を考えてボランティアで協力するほうを募るほうが真 の考えが出るのではないか。道の駅だけを考えたもの でないか。
- がんばってつづけてほしい。
- 高速道路のインターチェンジが小山にない事が大きい
- 小山駅東口新幹線(改札口)に便利になってほしいし 駐車場も無料にしてほしい。障害者はつらいです。
- 道の駅思川は思ったより買物しにくい(良くない)ド ア等をオープンにした方が良いと思います。
- 無作為抽出による市民討議会も良いと思うが各年代性 別、職業別さまざまな分野からの意見抽出も考えては どうでしょうか
- いつも総論賛成各論反対具体的行動にはいきません、 討論会と聞いただけで足がむきません、しかし出席し て意見を述べる人には尊敬しております

(質問5-1) 性別

1	男	160名
2	女	263 名

(質問5-2) 年齢

1	20~29歳	29名
2	30~39歳	67名
3	40~49歳	84名
4	50~59歳	73名
5	60~69歳	97名
6	70~79歳	58名
7	80~89歳	2名
8	90 歳以上	1名









参加者アンケート

(質問1) ウェルカムまちづくり市民討議会2008参加依頼を最初にご覧になった時、ど のように感じましたか? (複数回答なし)

1	おもしろそう	おもしろそうだと思った。	
2	2 不安になった。		4名
3	興味がなかっ	興味がなかった。	
4	内容がわかりづらかった		3名
		個人的に発表できる場をもうけたら良いと思う。 モニターをしている関係上興味があった。	
5	その他	広報を見ていなかったのでなんだろうと思った。いたずらや集っ ては行けないイベント	3名
		なぜ自分が選ばれたのだろう	

(質問2) 今回のような無作為抽出の市民の皆様に依頼文をお送りし、参加者を募る方法に ついてどのようにお考えですか? (複数回答なし)

	1	多くの市民が参加の機会をえられて、良いことだと思います。		33名
	2	関心のない市民にも案内が届くので効果的ではないと思う。		1名
3	3	その他	2の意見に加えもっと若い世代の人にも参加してもらえるよう努力して欲しい。	2名
	•	() (0	よいと思うが関心のある人間を半分は選抜したほうがよい。	

(質問3) 小山市にお住まいの年数についてお伺いします? (複数回答なし)

1	5年未満	4名
2	10 年未満	3名
3	20 年未満	3名
4	20 年以上	26名

(質問4-1) 1日間という開催についてどのように感じられましたか。

1	長い	5名
2	ちょうどよい	24名
3	短い	7名

(質問4-2) (長い) あるいは(短い) とお答えになった方にお尋ねします。ちょうどよい時間はとれくらいであると考えますか

1	半日の開催で1日あたり3時間ぐらい。	1名
2	1日の開催で1日あたり3時間ぐらい。	2名
3	1日の開催で1日あたり4時間ぐらい。	1名
4	1日の開催で1日あたり5時間ぐらい。	2名
5	2日の開催で1日あたり4時間ぐらい。	2名
6	2日の開催で1日あたり5時間ぐらい。	1名
7	2日の開催で1日あたり8時間ぐらい。	1名
8	3日の開催で1日あたり6時間ぐらい。	1名

(質問5) 今回の市民討議会は日曜日の日中に開催しました。曜日と時間帯について、どのようにお感じになりますか? (複数回答なし)

1	曜日について・・・週末がよい	21名
2	曜日について・・・平日がよい	5名
3	曜日について・・・どちらでもよい	8名
1	時間帯について・・・日中がよい	27名
2	時間帯について・・・夜がよい	1名
3	時間帯について・・・どちらでもよい	6名

(質問6) 今回の市民討議会の報酬とその額についてどのようにお感じになりましたか(複数回答なし)

1	ちょうどよい額だと思う。	28名
2	ちょうどよい額だと思わない。	2名
	適切な額は7,000円	
3	報酬は必要ない。	3名
4	今回とは違う方法での報酬がよい。	3名
	道の駅限定でなく共通商品券が良い。	
	商品券、ウェブマネー、デーパートクオカードなど。	
	現金プラス物。	

(質問7-1) 今回の市民討議会は(わがまち小山の長所と短所・来てみて住んでみたくなるようなまちってどんなまち)という大きなテーマ2つにわけて討議して頂きました。各回のテーマは討議を進める上で適切だったとお感じになりましたか?(複数回答なし)

1	適切だった。	31名
2	適切ではなかった。	5名

(質問7-2) 適切ではなかった方にお尋ねします。特にどの回が適切でないとお感じになりましたか(複数ある場所は複数おかきください)合わせてその理由をお書きください。)

3回目(テーマを限られた物にしてほしい。具体的に)
3回目(観光?商業?友人訪問?来てみたくなるまちの意味がわからない)
3回目(来てみたくではなく行ってみたくなるまちの方がわかりやすい)
3、4回目(来てみてすんでみては意味が似ている)
?回目(グループメンバー同士の意見交換の時間が短すぎた)

(質問8) 各回の情報提供について時間の長さはどのようにお感じになりましたか? (複数 回答なし)

1	長い	10名
2	ちょうどよい	17名
3	短い	9名

(質問9-1) 各回の討議について時間の長さはどのようにお感じになりましたか? (複数回答なし)

1	長い	2名
2	ちょうどよい	11名
3	短い	23名

(質問9-2) 討議グループについて1グループの人数はどのようにお感じになりましたか? (複数回答なし)

1	多い	0名
2	ちょうどよい	36名
3	少ない	0名

(質問10) 討議していくなかで、各テーマの(わがまち小山の長所と短所・来てみて住んで みたくなるまちってどんなまち)に関してご自身がこれまでもっていたお考えに 何か変化がありましたか?(複数回答なし)

1	自分の考えが参加前に比べて大きく変わった。	9名
2	どちらかというと変わった。	12名
3	とちらかというと変わらなかった。	12名
4	自分の考えにまったく変化がなかった。	3名

(質問11) 今回の討議を通して小山市の来てみて住んでみたくなるようなまちってどんなまちにまつわる問題点や今後につながるアイディアがあきらかになったと思われますか? (複数回答なし)

1	思う。	19名
2	どちらかというと思う。	16名
3	とちらかというと思わない。	1名
4	思わない。	0名

(質問12) 今回の市民討議会は参加していただく市民の皆様を無作為(ランダム)で選びま したがこの選び方についてあらためてどのように思われましたか? (複数回答なし)

1	良いと思う。	31名
2	良いと思わない。	1名
3	どちらでもよい。	4名

(質問13) これまでに(市民討議会)や(市民ワークショップ)といった市が主催する討論 の集まりに参加したことがありますか?(複数回答なし)

1	ある	3名	
	道の駅モニター		
	まちづくり		
2	ない	33名	

(質問14) 市民討議会に限らず小山市の市民参加の試みに今後も参加したいと思いますか? (複数回答なし)

1	参加したい。	16名
2	都合がつけば参加したい。	20名
3	参加したくない。	0名

(その他) 小山市民討議会2008ウェルカムまちづくりについてご意見やご要望がござい ましたら以下にご記入ください。

小山市の公共機関、中でも小山市役所庁舎、小山市民病院、図書館などの建物の老朽化については部分的な手 入れを絶えずそのつど実施して外装、内装などのリフォームを施し市民が気持ち良く利用できるようにお願い 致します。(大きな費用を血税として投入しない)

いろんな人の意見が聞けて楽しかった。この意見をどう活かすのか楽しみです。ご苦労様でした。

事前資料があればもっといろんな意見がでたと思います。

全体的な感想は参加されている考え方が皆さん同じであると感じた。小山はいいとこだと感じてはいるが、自 慢できるものがない。アピールできるものがないということだ。名物的なものをつくり出せたらと考えた。思 川桜をもう少しアピールできたと考える。

皆でよいまちづくりをしていこうという気持ちがすごく伝わった討議だったと思います。この意見をむだにせ ず、これからの小山市の発展につながったらいいなと思います。

10 時~16 時の予定で行われたのですが、あまり長く感じられなかったです。

今回話し合った意見で、改善すべきところ、行政でできるところはしていただいてもっと市民が暮らしやすい 小山になったら良いと思います。

今回の参加で希望の多かった事に対し、市として取り組んで頂きたい。

1年に1度では少なすぎる。各議題について短いディスカッションの場をもうけ何度も開いたほうがよい。年 代別、職業別、男女別のディスカッションも面白い。

今回初の試みだとお聞きしましたが、是非、次回も開催してほしいと思いました。とても良い時間がすごせま した。今まであまり広報等を読んでいませんでしたが、これからはきちんと読もうと私の意識も変わりました。 今日参加できなかった人の意識も変わると思います。本当に今日はありがとうございました。

何もわからずに参考になると思い参加しましたが、みなさん発表のうまさに驚きました。普段、主婦業だけの 生活の中で今日はよい刺激になりました。挨拶の長さが気になりました。大勢の方々に囲まれてびっくりしま した。

このような活動はとてもすばらしい事だと思います。今後も是非続けて欲しいと思います。ただし、今回出た 意見は確実に市に検討され出来るだけ多く実現できることをせつに願います。テーマとして 10 年後の小山市 予測などというのがあってもおもしろいのでは。討議会の宣伝をもっとしたほうがい良いと思います。手紙が こなかった近所の人は誰も知らないようです。

青年会議所のわかい方々がしっかりしておられ将来は大丈夫だなと思いました。また、これに参加することに より市からの配付物に目を通す事にまじめになりました。最近よく歩くのですが、まわりを見る目が、考え方 が変わり、いろいろ考えながら歩くようになりました。期待しています。

参加された人達は、もともと意見を述べたいと思って参加したのであったため思ったより活発に自分の意見が たくさん出てきたと感じました。このような積極的な意見を是非、行政に反映して頂きたいと思っています。

資料にナンバーを付けて下さい。説明時に資料がわからない為

もっと細かく説明しなければわからないことも沢山あると思うのでもっと討論をする時間を設けたら良い。

意見はほとんど似たり寄ったり重複が多かったです。それは小山が特徴のあるまちではないということの表れ だったのでは?と感じます。その意味では今回の討議会は大変有意義だったと思います。次回開催があるので あれば今回の意見を踏まえた上で少数意見を議論するのも意義があると思います。小山市民として小山が発展 していく事を期待しています。

小山市の方々の意見が聞けると考えると思って参加しました。1人も知り合いの方がいませんでしたのでみな さんのご意見が新鮮でした。できれば発表者は交替で行い、参加者が体験できる機会を増やしたほうがよいと 思います。(私は一度体験できました。)事前説明の際、意見の取扱について意見がありましたが、取扱につい ては実行委員で責任をもって行えば良いことで私達参加者は一任します。

あまり興味がなかったので心配していましたが、とても充実して楽しい時を過ごせました。これからはどんど んこのような企画を計画して頂き気軽に参加できるように PR して下さい。

毎年続けていってほしい。多くの市民が参加できるように考えてほしい。幼稚園や小学校、中学校、高校等学 校での開催があると良いと思います。子供の預かりもあると参加者が増えると思います。今回の結果を市政に 必ず報告し、実行に移して欲しいです。

今回は今自分が生活し、おかれている状況で困っていることをとりあげてもらえて本当に良かった。もっとこ うしたら小山市は良くなる、と思っている方はたくさんいると思います。こういう話し合いは年に一回ではな く年に4回ぐらいあってもよいと思います。小山市がどんどんよくなると思います。いろんな意見からよいア イディア等沢山でていると思います。もっと細かい事、案も沢山あります。また出席したいです。

事前に資料やテーマを頂けると、まわりの家族や知人の意見も聞いてこられより充実した意見がでるのでは・・・ 参加者はあくまで市民の代表であるのだからまたネット等でも参加していない人からの意見を募集するのも良 いと思う。10代から20代の参加がもっとあっても良かった。大学と共同でやるのも良いのでは。

今後も続けていって下さい。今回の情報をまとめ、広く公表して下さい。どのような事が変わったのか知らせ て下さい。今後続いていたら広報などで知らせて下さい。

今後も討議会を続けることが良いと思います。年代層を考慮にいれて・・・

自分自身が小山について認識不足とつくづく思い、改めて小山市について自分の住むまち、ということに興味 をもった。このような機会を是非多くの人に味わって欲しいと思います。また、役員の方々の熱意が感じられ とても良い経験をさせて頂き喜んでいます。

時間配分が適切でなかった。はじめての試みだったが、誠意があり、暖かな討論会だった。小人数のグループ で意見が延べ易かった。思っていたより楽しい時間がすごせた。お弁当おいしく頂きました。ごちそうさまで した。

せっかくの機会なので希望を申し上げます。思川に駐在所ができて喜んでいましたが、もう何年か経つのに駐 在者の顔も見た事がない。駐在所は、市民の安全の為にあると思うが、地域の人ともっと馴染んでもらいたい。 内容的に抽象的な課題なのでもうすこし時間があれば突っ込んだ意見集約ができたと思います。まとめが大枠 なので、発表者が説明時に紹介する部分が多かった。長所と短所の場合は対立する意見がでたので調整するの に困った。

はじめて参加しましたが楽しかったです。人選について一つだけお願いがあります。年齢別に20歳、30歳、40 歳、50歳・・・と平均に人数を選べたらよいと思います。小山に住みたくなるのは若い人の意見が一番必要 だと思います。高齢者が多すぎます。

これから、亡くなる人が増えると思われる。私もその1人ですが、これから世の中で何をお返しできるか考え ています。宇都宮市で実施していると聞いているて点字訳のような法人活動ができるとありがたい。小山市で も考慮していただけないであろうか?

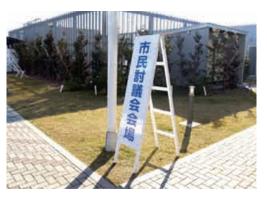
とてもよかったです。特に無作為の選び方、常に行政に関わる委員のメンバーを見ていると、どのようにして 選んでいるのかなと思っていました。(重複で委員になっていたり)やはり多くの意見を聞く事が必要だと思 います。少しでも住みよいまちづくりをして欲しいと思います。

資料を前もって送られてくれば、お話の時間は短く、理解度はよいと思う。











このたび、小山市民討議会2008『ウェルカムまちづくり』 にご参加いただきまして、

まことにありがとうございます。

小山市と
州山市と
州山市
と
村小山青年会議所
がパートナーシップ協定を
結び行った、
無作為抽出による市民参加型の会議は初の試みでありました。
我々青年会議所は明るい豊かな社会の創造を目指す団体でありますが、メンバー一人一人は、このまちを愛する一市民でもあります。



まちづくりは行政だけが行うものでも、わたしたち市民だけで出来るものでもなく、市民と行政が一つとなったときにはじめて、自分たちが生まれ育っていくまちの、あるべき未来像が生まれ、作り上げていくことが出来るのではないでしょうか。

この小山市民討議会も、これから皆さんと一緒により良いものに育て作り上げて行けたらと考えております。

わたしたちの声を行政に反映させ、わたしたちのまちはわたしたちがつくる。

そして我々も一市民として、この市民討議会に参加出来たらと思っています。

市民討議会が小山市のまちづくりの手法として定着し、明るい豊かなまちへの更なる発展 に繋がることをご祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

おわりに、1970年にドイツにてこの討議デモクラシーの市民参加の手法「プラーヌンクスツェレ」を考案した故ディーネル教授、この市民討議会の手法をご教授くださいました日本プラーヌンクスツェレ研究会代表であり別府大学教授でもある篠藤明憲様ならびにNPO市民討議会推進ネットワーク代表の吉田純夫様、そしてこの趣旨にご理解いただき快く共催をお受けいただきました大久保市長様、実行委員会として共にご協力ご助言いただきました小山市職員の皆様、また、広報活動にて多大なるご協力をいただきました報道関係者の皆様、開催にあたりご支援いただきました青年会議所関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

2008 年度 社団法人 小山青年会議所 第 39 代理事長 板橋 宏